

シルバー人材センターに 入会していただく

○シルバー人材センターとは

シルバー人材センターは、高齢者の方々が働くことを通じて生きがいを得るとともに、地域の活性化に貢献する組織です。

センターは、各市町村単位に設置され、地域で臨時的・短期的な仕事を請け負います。

家庭、事業所、官公庁などから仕事の依頼を受けたシルバー人材センターは、会員の希望や能力に応じて、仕事を紹介します。

その労働の対価として、センターから会員に報酬が支払われる仕組みとなっています。

○仕事内容

仕事内容は、屋内外の清掃、樹木の剪定、家事援助など様々です。

その他にも大型商業施設の買物カーの整理、学習等供用施設の受付事務、神明公園の草刈りなど、身近なところで、多くの会員が活躍しています。

町内を歩いていると、鮮やかな緑色のジャンパーと帽子を着用した高齢者

を見かける機会があると思います。シルバー人材センターの会員で、就労を通じて様々な形で地域社会に貢献されています。

○新規事業「ふれあい農園事業」

今年度から、新規事業としてふれあい農園事業を開始しています。

ふれあい農園事業とは、シルバー人材センターの会員が、町内の遊休農地で農作物を栽培し、販売するものです。販売代金から資材費と事務費を引いた額が、報酬として会員に支給されます。

今年度は、キュウリやスイカなど夏野菜の収穫を終え、これから冬場にかけてジャガイモ、大根、ブロッコリーなどを収穫します。

収穫した野菜は、総合福祉センター南館ひまわり内にあるシルバー人材センター事務所や、リサイクルステーション横で販売しています。

「作って幸せ食して幸せ」をキャッチフレーズに、JA産直部会などと連携しながら地産地消を実

践して



事務所で

は、平日の午前八時三十分から午後五時十五分まで、リ

サイクルステーション横では、土

曜日・日曜日の午前八時三十分から午前十一時頃まで販売しています。

いずれも商品がなくなり次第終了します。また、季節的に収穫する野菜がない場合は、販売を中止しています。豊山町産の野菜を食してみたい方は、ぜひ足をお運びください。

ふれあい農園は、このように会員の就労の場としてだけではなく、町民同士の「ふれあい」の場にもなっています。

今年度は、新栄小学校の低学年生を対象に、ふれあい農園で親子定植体験と収穫体験を実施します。農作物の定植から収穫までの過程を、小学生が肌で感じることは、食育の推進にもつながっています。

また、栽培の講習を受けた会員が、苗の植え方や野菜の収穫方法を参加親子に教えることで、世代間の交流の場にもなっています。



○入会方法

入会要件は、六十歳以上の健康で働く意欲のある町内在住の方です。

入会を希望する方は、シルバー人材センターに申込みが必要です。定期的に入会説明会も開催していますので、お問い合わせください。

高齢者の笑顔あふれる暮らしを目指して

平成二十五年の日本人男性の平均寿命は八十・二一歳、女性は八十六・六一歳で、男女ともに過去最高を更新しています。

平均寿命の伸びとともに、近年は六十歳を過ぎてからの人生設計が重要視されるようになってきています。

住み慣れた地域で、有意義な第二の人生を送るためには、「健康」「生きがい」「経済」の三つのバランスが重要と言われています。バランスの維持には、自らが積極的に社会参加を図り、生きがいや人と人との交流を見出していくことが大切です。

人生八十年時代と呼ばれる中、本町の高齢者生きがい支援事業を、社会参加の選択肢の一つとして活用してください。

▼問合せ 福祉課高齢者・介護係
28・0100 (公社)豊山町シルバー人材センター 28・6322